

## 平成22年8月期 第1四半期決算短信

平成22年1月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 サダマツ

コード番号 2736 URL <http://www.b-sophia.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 貞松 隆弥

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・管理部長

(氏名) 磯野 紘一

TEL 03-5768-9957

四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年8月期第1四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成21年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第1四半期	1,442	△16.2	△137	—	△154	—	△189	—
21年8月期第1四半期	1,721	—	31	—	△8	—	△40	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第1四半期	△17.08	—
21年8月期第1四半期	△3.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年8月期第1四半期	5,965	—	1,083	—	18.1	97.29
21年8月期	5,584	—	1,295	—	23.2	116.89

(参考) 自己資本 22年8月期第1四半期 1,079百万円 21年8月期 1,295百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	—	—	2.00	2.00
22年8月期	—	—	—	—	—
22年8月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,700	△4.0	125	△32.8	85	△32.5	20	△61.5	1.80
通期	7,100	△2.5	225	35.5	155	96.2	35	—	3.15

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第1四半期	11,387,000株	21年8月期	11,387,000株
② 期末自己株式数	22年8月期第1四半期	289,479株	21年8月期	301,479株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年8月期第1四半期	11,085,653株	21年8月期第1四半期	11,166,917株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、4ページの【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は昨年より続いている世界的な不況の影響を受け、依然として不安定な経済状況でありました。歴史的な政権交代に伴う政策が、実態経済に及ぼす影響はいまだ不透明であり、消費環境の回復には慎重な姿勢を余儀なくされました。当社グループが属する宝飾業界におきましては、消費者の商品に対する質やコンセプトへの満足度を求める傾向が強まるといった、不況を背景にした消費動向の変調が感じられつつ、厳しい消費環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは主要部門である(株)サダマツを中心に、新たな経営理念を実現すべく各事業部門での変革を伴う事業推進を行ってまいりました。(株)サダマツによる国内小売事業に関しては、地方のショッピングセンターに変わり都市型・百貨店型の店舗の展開は増加しましたが、当第1四半期連結会計期間末では前年同期に比べ総店舗数が減少したことや消費マインドがますます低迷基調になったことなどから、売上高は前年同期に比べ減少しました。売上総利益額に関しては、売上高の減少に伴い減少しました。売上総利益率に関しましては、原材料価格の段階的な上昇のほか、出店先商業施設での価格訴求型の施策への対応や当社の出店政策を背景にした改装セールの実施がその要因となり、前年同期と比べて減少しました。この改装セールは、当社のショップブランド別に異なる店舗運営の合理化および消費動向の変調への適応を目的とした、店名や商品コンセプト等に象徴される店舗形態の変更に伴うものであります。一方でベトナム子会社の生産機能が向上し、同社製品の売上構成比が高くなったことから製品原価は低減傾向にあるため、これらの売上総利益率に与えるマイナスの影響は最小限に留められました。クリスマス商戦や年末商戦に向けた集客を推進するために前掛かりの一般宣伝広告費の投下を行ったことなどにより販売費が増加しましたが、店舗配員の適正化を主とした人件費の減少と、賃借料や固定家賃を主とした管理費の減少により、全般的な販売費及び一般管理費に関しましては、前年同期と比べて減少しました。これまでのビジネスモデルの変革の成果として、販売費及び一般管理費は効率化を一段進めることが出来ました。

連結業績を構成する子会社の内、台湾の維愛国際有限公司(日本名:(有)ヴィエールインターナショナル)においては、前事業年度後半に3店舗を閉鎖したため売上高は減少しましたが、当第1四半期連結会計期間初旬には、海外ではじめての大型路面店を台北市の中心部に展開し、事業の活性化を進めてまいりました。新店舗への初期投資が発生しておりますが、親会社(株)サダマツからの人員とノウハウの投入により既存店の売上に関しましては増加しました。ベトナムの子会社、D&Q JEWELLERY CO., Ltd.(日本名:(株)ディーアンドキュー ジュエリー)での事業の安定化と合わせて当社グループの連結業績への有効性を追求してまいりました。

連結業績における営業外の損益に関しては、支払利息と為替差損が発生しておりますが、その額は前年同四半期に比べて減少しております。特別損益に関しては、前年同期にありました固定資産除却損と投資有価証券評価損は、発生しておらず、損失額は減少しております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における当社グループの業績は、売上高1,442百万円(前年同四半期比16.2%減)、営業損失137百万円(前年同四半期営業利益31百万円)、経常損失154百万円(前年同四半期経常損失8百万円)、四半期純損失189百万円(前年同四半期純損失40百万円)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は5,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ381百万円増加いたしました。その要因は主に、商品及び製品の増加382百万円、現金及び預金の増加143百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,882百万円となり、前連結会計年度末に比べ594百万円増加いたしました。その要因は主に、短期借入金の増加377百万円、支払手形及び買掛金の増加287百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は1,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円減少いたしました。その要因は主に、四半期純損失189百万円の計上、配当金の支払22百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率18.1%となり、前連結会計年度末に比べ5.1ポイント減少いたしました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,305百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、103百万円（前年同期は150百万円の使用）となりました。その要因は主に、仕入債務の増加292百万円、売上債権の減少116百万円による増加があったものの、たな卸資産の増加388百万円、税金等調整前四半期純損失156百万円の計上があったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、27百万円（前年同期は41百万円の獲得）となりました。その要因は主に、有形固定資産の取得による支出31百万円があったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、278百万円（前年同期は298百万円の使用）となりました。その要因は主に、長期借入金の返済による支出98百万円があったものの、短期借入金の純増額377百万円があったことによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月期決算発表時（平成21年10月14日）の予想を変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1. 簡便な会計処理

##### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ② 繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### 2. 四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,305,967	1,162,816
受取手形及び売掛金	471,702	589,225
商品及び製品	2,542,278	2,160,270
原材料	289,090	288,241
繰延税金資産	6,418	16,592
その他	100,840	103,393
貸倒引当金	△1,601	△1,708
流動資産合計	4,714,696	4,318,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	195,209	181,040
減価償却累計額	△93,610	△88,135
減損損失累計額	△13,238	△13,238
建物及び構築物 (純額)	88,360	79,666
機械装置及び運搬具	57,145	60,560
減価償却累計額	△26,458	△26,602
機械装置及び運搬具 (純額)	30,686	33,958
工具、器具及び備品	120,446	113,433
減価償却累計額	△73,331	△69,117
減損損失累計額	△1,168	△1,168
工具、器具及び備品 (純額)	45,946	43,146
土地	140,963	140,963
リース資産	9,169	—
減価償却累計額	△275	—
リース資産 (純額)	8,893	—
有形固定資産合計	314,850	297,735
無形固定資産		
リース資産	5,510	—
その他	20,283	19,309
無形固定資産合計	25,794	19,309
投資その他の資産		
投資有価証券	96,990	97,474
繰延税金資産	165,179	178,058
差入保証金	516,226	533,542
役員に対する長期貸付金	—	3,381
その他	136,436	140,017
貸倒引当金	△4,968	△5,177
投資その他の資産合計	909,864	947,297

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
固定資産合計	1,250,510	1,264,343
繰延資産	460	920
資産合計	5,965,666	5,584,094
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	814,751	527,162
短期借入金	2,680,399	2,302,899
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払金及び未払費用	347,549	284,286
未払法人税等	6,865	44,182
賞与引当金	10,000	28,000
ポイント引当金	1,414	1,885
その他	131,835	112,275
流動負債合計	4,032,816	3,340,692
固定負債		
社債	110,000	110,000
長期借入金	628,009	726,234
退職給付引当金	86,110	92,026
長期リース資産減損勘定	12,899	17,282
その他	12,712	2,040
固定負債合計	849,731	947,582
負債合計	4,882,548	4,288,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	743,392	743,392
資本剰余金	550,701	550,701
利益剰余金	△155,991	55,989
自己株式	△27,096	△28,219
株主資本合計	1,111,005	1,321,863
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△288	—
為替換算調整勘定	△30,997	△26,044
評価・換算差額等合計	△31,285	△26,044
新株予約権	3,399	—
純資産合計	1,083,118	1,295,818
負債純資産合計	5,965,666	5,584,094

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)
売上高	1,721,894	1,442,574
売上原価	668,667	571,485
売上総利益	1,053,226	871,088
販売費及び一般管理費	1,021,885	1,008,956
営業利益又は営業損失(△)	31,341	△137,867
営業外収益		
受取利息	1,669	33
受取家賃	285	285
協賛金収入	387	—
その他	254	799
営業外収益合計	2,596	1,118
営業外費用		
支払利息	14,335	11,280
社債利息	247	467
社債発行費償却	460	460
社債保証料	487	188
為替差損	26,422	5,614
その他	148	41
営業外費用合計	42,101	18,051
経常損失(△)	△8,164	△154,800
特別利益		
ポイント引当金戻入	702	471
貸倒引当金戻入額	173	141
受取補償金	—	90
特別利益合計	875	703
特別損失		
店舗閉鎖損失	1,937	2,859
固定資産除却損	1,844	—
投資有価証券評価損	4,698	—
その他	27	18
特別損失合計	8,507	2,877
税金等調整前四半期純損失(△)	△15,795	△156,975
法人税、住民税及び事業税	12,952	9,093
法人税等調整額	12,120	23,248
法人税等合計	25,073	32,342
少数株主利益	109	—
四半期純損失(△)	△40,978	△189,317

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△15,795	△156,975
減価償却費	16,274	22,042
株式報酬費用	—	4,017
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15	△5,882
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31,148	△18,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△702	△471
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	64	△33
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,698	—
その他の特別損益 (△は益)	3,781	4
為替差損益 (△は益)	12,900	3,736
受取利息及び受取配当金	△1,669	△33
支払利息及び社債利息	14,582	11,747
繰延資産償却額	460	460
売上債権の増減額 (△は増加)	161,527	116,590
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△355,669	△388,200
仕入債務の増減額 (△は減少)	137,170	292,972
その他の資産の増減額 (△は増加)	△20,171	4,460
その他の負債の増減額 (△は減少)	△18,979	68,355
小計	△92,660	△45,209
利息及び配当金の受取額	1,669	33
利息の支払額	△14,582	△11,747
法人税等の支払額	△45,157	△46,410
営業活動によるキャッシュ・フロー	△150,731	△103,334
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,517	△31,819
差入保証金の差入による支出	△1,665	△145
差入保証金の回収による収入	60,942	17,152
その他の支出	△1,222	△7,877
その他の収入	251	2,546
無形固定資産の取得による支出	△1,407	△7,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,380	△27,815
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	440,000	377,500
長期借入金の返済による支出	△52,669	△98,224
社債の償還による支出	△660,000	—
自己株式の取得による支出	△14,050	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	12
配当金の支払額	△11,648	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△298,369	278,921
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,704	△4,620
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△413,424	143,150
現金及び現金同等物の期首残高	1,499,735	1,162,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,086,311	1,305,967



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

宝飾品等の小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)

宝飾品等の小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

本邦売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)

本邦売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。